国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和８年１０月１５日
小樽開発建設部

今年で１４年目！

小学生と協働で砂入りペットボトルを製作します！

～観光客等のツルツル路面での歩行を滑り止め用砂で支援～

小樽開発建設部では、小樽市立花園小学校と協働し、地域や観光客の方々へ冬道歩行を支援するため、滑り止め用砂入りペットボトルを製作しますので、下記のとおりお知らせします。

この取組は、児童が地域の安全や環境・社会貢献について学ぶ一環として、秋はペットボトルに滑り止め用の砂詰め、冬は完成したペットボトルを活用し、観光客と交流を図りながら砂まきを実施します。今年で１４年目を迎えます。使用するペットボトルは、参加児童のご家庭から持ち寄った再利用のペットボトルと、シーニックバイウェイ北海道の包括連携協定締結企業である北海道コカ・コーラ リテール＆ベンディング株式会社から提供いただいたペットボトルの２種類で約２００本製作予定です。

今年は、小樽開発建設部が用意したオリジナルイラストに児童一人ひとりが想いを込めながら色を塗り、完成したラベルをペットボトルに貼り付けます。ラベルには多言語（英語、韓国語、中国語）による説明を加え、外国人観光客などインバウンドへの対応も図ります。

記

（１）実施日時　令和８年１０月２２日（木）１３：０５から（※雨天決行）

（２）実施場所　小樽市立花園小学校（小樽市花園５丁目４番１号）（別紙１参照）

（３）実施内容
・小樽市立花園小学校５年生児童２６名が色付けしたオリジナルラベルを貼り付け、砂まきの目的や使用方法を多言語で説明できるよう工夫。
・空きペットボトルに冬道滑り止め用砂を詰める。
（別紙１参照）

（４）そ の 他　取材を希望される方は、下記問合せ先に事前にご連絡ください。
事前に連絡のあった報道機関の方以外は立ち入り出来ません。

＜今後の予定＞

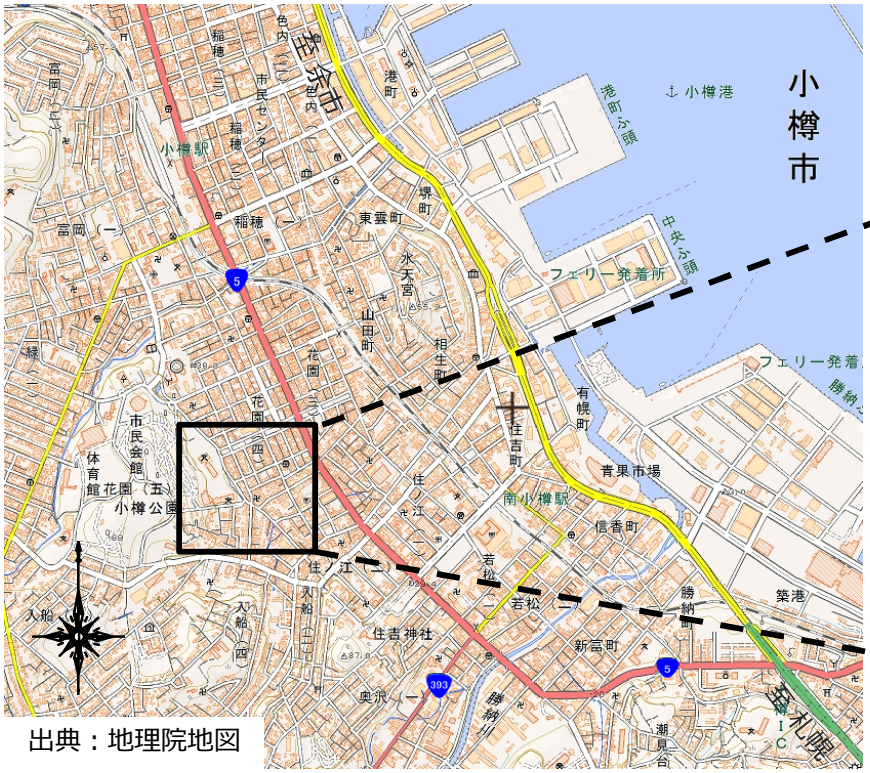
製作したペットボトルは、令和９年２月に予定している小学生との協働イベント（国道の通学路における砂まき体験、観光エリアでの配布）等で使用します。（別紙２参照）

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】　国土交通省　北海道開発局　小樽開発建設部
道路計画課　特定道路事業対策官　秋本　光雄（電話 0134-23-5229）
道路計画課　道路調査官　小池　敦史（電話 0134-23-5229）
（小樽開発建設部ホームページ）　https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/

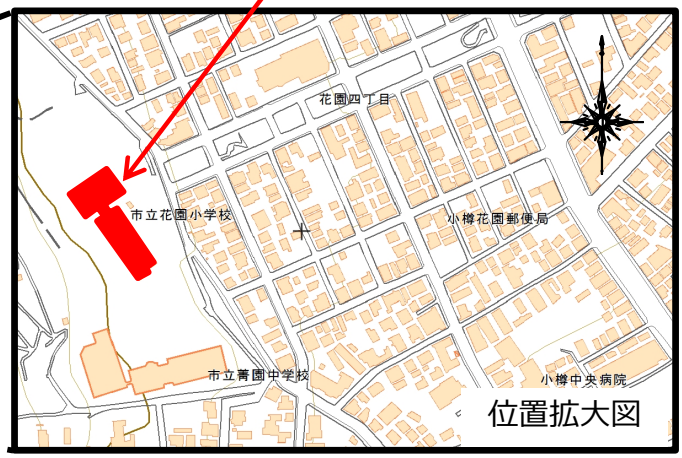
別紙１

＜実施場所位置図＞



出典：地理院地図

＜実施場所＞
小樽市立花園小学校
住所：小樽市花園５丁目４番１号



ペットボトルへの砂詰め概要

※写真は過年度の様子

オリジナルイラスト（事前準備）

①児童がオリジナルイラストに自由に色を塗る。

ラベル貼付（当　日）

②自分の塗り絵シールをペットボトルに貼付。

砂詰め（当　日）

※完成イメージ

③児童自ら、スコップと漏斗を使って砂詰め。

別紙２

砂まき体験と外国人観光客との交流の概要

砂詰め作業（１０月２２日実施）

砂まきイベントの取組（令和９年2月実施予定）

※写真は過年度の様子

外国語学習

①学校の授業で外国語の挨拶、自己紹介の仕方を事前に学習

実体験

②通学路に自ら砂をまき、効果を体験

観光客との交流

③観光客に砂詰めペットボトルを配布。砂まき効果を説明し、砂まきへの協力をお願いする